



2012年8月27日

各位

会社名  **日医工株式会社**  
(証券コード 4541 東証一部)

代表者名 代表取締役社長 田村 友一  
お問合せ先 社長室長 東 満之  
TEL 076-442-7026

## ジェネリック医薬品の小包装製品供給による 上田薬剤師会との共同調査実施に関するお知らせ

日医工株式会社(富山県富山市、代表取締役社長 田村友一、以下「当社」)は、社団法人上田薬剤師会(長野県上田市、会長 飯島康典、以下「上田薬剤師会」)と共同で、ジェネリック医薬品の小包装製品の供給による箱出し調剤効果について共同調査を実施致します。

研究は、当社が1週分から2週分の経口剤を1パッケージとした製品(小包装製品)を新たに上田薬剤師会会員薬局用として製造し、調査協力薬局に調査協力卸を通して供給します。

上田薬剤師会では、小包装製品を用いることによって、①業務時間がどのように変化するか調査、②患者様への説明時間変化と患者の満足度、についての2つの調査を行います。

なお、研究実施のデザインと解析は、名城大学薬学部臨床経済学研究室(教授 坂巻弘之氏)において実施致します。

### 【研究の背景】

欧米では、医薬品の流通上の安全確保から、これまでも、比較的少ない日数分の包装製品(小包装製品)を薬局において開封せずに患者様に調剤(「箱出し調剤」という)することが一般的であった。特にEU加盟国では、2011年のEU指令に基づき、薬局において薬剤師が調剤目的で医薬品包装を開封することが禁じられています。

小包装製品は、以下のようなメリットがあると考えられ、わが国でもその普及が望まれます。

- ① 小包装製品は、患者様が最初に服用するまで開封されないため、湿気や光の影響を受けにくく開封までの品質向上が期待できる。
- ② 万が一、何らかの問題が発生した場合、包装単位での追跡ができるようになる。
- ③ 薬剤師の業務が効率化され、調剤にかかる時間を短縮できる、調剤ミスなどが減ることが期待されるとともに、患者様への説明に時間を使うことができるようになる。

薬局における在庫負担の軽減が期待され、特に、ジェネリック医薬品においては、銘柄変更がなされることが多いことから、在庫負担の軽減につながる可能性が大きいと考えられます。

### 【今後について】

当社は、小包装製品による箱出し調剤の有用性を明らかにし、患者様への利便性の向上、薬剤師の方々の業務効率化、薬局における在庫負担の軽減に協力し、医療の発展に寄与できればと考えております。

以上